

Z会東大進学教室

中2英語

中2東大英語



1章 現在完了

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) 第1文「フレッドは医者になった。」は過去形。過去のある時点において医者になったが、現在も医者をしているかどうかは不明。第2文「フレッドは医者になった。」は現在完了形。日本語にすると同じだが、こちらは現在も医者であることを意味する。
- (2) 第1文「あなたは夕食に何を作りましたか。」は過去形。過去のある時点でのことをたずねている。作った料理が今もあるかは不明。第2文「あなたは夕食に何を作りましたか。」は現在完了形。すなわち、現在と関連がある内容であり、作った料理が今もある状況を表している。
- (3) 第1文「私の弟は3万円を貯金した。」は過去形。過去のある時点において3万円の貯金があったことを意味し、現在そのお金があるかは不明。第2文「私の弟は3万円貯金してある。」は現在完了形。今現在3万円あることを意味している。

■ 確認問題 2

解答

- (1) 状態の継続：「私は3年間品川に住んでいる。」
- (2) 完了：「テリーはちょうど帰宅したところだ。」
- (3) 経験：「あなたはミュージカルに行ったことがありますか。」
- (4) 状態の継続：「ジェリーと私は10年間友達だ〔10年来の友達だ〕。」
- (5) 完了：「私たちはもうそのコンサートのチケットを買った。」
- (6) 経験：「彼女は何回船旅をしたことがありますか。」

解説

- (1) 「for + 期間を表す語句」で「～の間」の意。
- (2) just は「ちょうど」の意で完了用法とともに用いられる副詞。
- (3) ever は「今までに」の意を表す。
- (4) 「for + 期間を表す語句」で「～の間」の意。
- (5) already は「すでに、もう」の意で完了用法とともに用いられる副詞。
- (6) How often …? は「何回、どれくらい…?」をたずねる表現。経験用法で用いる。

■ 確認問題 3

解答

- (1) It has been raining for two hours.
- (2) Cindy has been sick for a week.
- (3) The alarm clock has been ringing for ten minutes.
- (4) Mr. Tamura has been on the telephone for an hour.

別解 Mr. Tamura has been using the telephone for an hour.

解説

(1), (3), および (4) の別解は現在完了進行形。過去のある時点で始まった動作が、今現在も進行中であることを表す。< have [has] + been + …ing > の形で用いる。

■ 確認問題 4

解答

- (1) Ms. Tremont bought a new dress yesterday.
- (2) I have never seen such a strange flower as this.
- (3) The poet has been dead for ten years.

It has been [is] ten years since the poet died.

Ten years have passed since the poet died.

解説

- (1) yesterday という過去を表す語句があるので、過去時制にする。
- (2) 「これは私が今までに見た中でもっとも奇妙な花です。」 → 「私は今までにこんなに奇妙な花を見たことがない。」 に変える。never は「一度も…したことがない」の意で経験用法に用いられる副詞である。
- (3) 頻出の書き換え表現。すべて正確に書けるようにしておこう。

■ 聞き取りクイズ

解答

- ① usually ② television ③ decision ④ pleasure ⑤ treasure

問題

【1】

解答

- (1) have never been to (2) have been absent from
(3) How long ; been studying (4) ever been to
(5) How many (6) heard from ; for
(7) have just been to ; to see (8) haven't had
(9) has passed (10) has gone
(11) has it been since [have passed since]

解説

- (1) 現在完了の経験用法。never は「一度も…したことがない」の意。been to ~ は「～に行ったことがある」を表す。
(2) 現在完了の継続用法。be absent from ~ は「～を欠席する」の意。
(3) 「いつから…」と期間をたずねる表現は How long …? 。動作の継続を表すので、現在完了進行形が適切。
(4) 現在完了の経験用法。ever は「今までに」の意で疑問文でよく用いられる。
(5) How many times …? 「何回…か」と回数をたずねる表現。
(6) hear from ~ 「～から便りをもらう」は頻出表現。the last ~ 「ここ～」も継続用法でよく用いられる表現。
(7) been to ~ は「～へ行ったことがある」の他に「～へ行ってきたところだ」の意味があり、ここではその用法である。see ~ off は「～(人)を見送る」。
(8) we が主語なので動詞は have を用いて表す。rain は数えられない名詞なので much を用いる。
(9) 「最後に雨が降ってから 1 週間が過ぎた」と考える。主語が A week で単数なので、has passed となることに注意。
(10) 「～へ行ってしまった(今ここにはいない)」は have [has] gone to ~ で表す。
(11) 肯定文の It has been ~ since S + V. でまず考えてみよう。「S が…してから～経つ」となり、これを疑問文に組み換えればよい。

【2】

解答

- (1) has gone (2) has ; in ; for (3) come ; from
(4) It is ; since (5) haven't met [seen]

解説

- (1) 「行ってしまって今はいない」は have [has] gone to ~ で表す。
(2) have [has] been in ~ は継続用法の表現。for 以下が期間を表している。
(3) 「私はちょうど駅まで行ってきたところだ」→「私はちょうど駅から戻ったところだ」でほぼ同意。

- (4) 「その鳥が姿を消してから10日が経つ」の意。since + SVの部分に注意 (× for + SVは不可)。
- (5) 「私たちが彼に最後に会ってから10年が経つ」→「私たちは10年彼に会っていない」。

【3】

解答

- (1) There have been many wars in the 21st century.
- (2) My father has been drinking since it got dark.
- (3) This is one of the most interesting stories that I have ever read.
- (4) I have lived here for more than five years.
- (5) I have never heard such a funny story as his.

解説

- (1) 「～がある」は There is [are] ～ で表すことを思い出そう。あとは現在完了 have + 過去分詞の形を当てはめればよい。
- (2) 語群に been, drinking があることに着目。現在完了進行形の文である。drink は目的語が特にならない場合、「アルコール〔酒〕を飲む」ことを意味する。since + SV の部分も正しく読み取ろう。
- (3) one of the + 複数名詞「～の1つ」の部分を正しく作ろう。
- (5) such a [an] ～ as … 「…のような～」

【4】

解答

- ① doing ② finishing ③ will go [am going to go ; am going]
 ④ meet ⑤ found ⑥ went ⑦ were told ⑧ could
 ⑨ not told ⑩ have ⑪ to use ⑫ to go ⑬ have not visited

解説

- ②：前置詞の後なので動名詞にする。
- ④：現在の習慣は現在形で表す。
- ⑤, ⑥：Yesterday とあるので過去の出来事。
- ⑦：後ろの by がヒント。「警察に持っていていいと言われた」の意。
- ⑨, ⑩：「友達には、まだそれを持っていることを言っていない」の意。
- ⑫：不定詞の副詞用法。「その島へ行くために」。
- ⑬：現在完了の経験用法。

【5】

解答

- (1) “Would you like something to eat?” “No, thank you. I’ve just had my lunch.”
- (2) “Don’t forget to call Ken.” “Oh, I’ve already called him.”
- (3) My father has never had a car.
- (4) “Have you ever been to India?” “Yes. I’ve been there three times.”
- (5) It has been three years since I first met him. [It is three years since I first met him.]
- (6) Do you know that he has gone to America?

解説

- (1) 「～はいかがですか」は Would you like ～? を覚えておけば便利。答えの文では現在完了の完了用法を用いればよい。just 「ちょうど」をうまく使えるようにしよう。
- (2) 「もう…した」は already で表す。forget to … 「…するのを忘れる」の意。
- (3) 「一度も…ない」は never を用いる。
- (4) 現在完了の経験用法。「今までに…」は ever を用いて表す。答えの文では to India を繰り返さずに there で表す。「～回」は通常、～ times と表す。
- (6) 「～に行ってしまった」は have [has] gone to ～。

【6】

解答

- (1) They have been waiting for you for an hour.
- (2) How long have you and he been friends?
- (3) She hasn’t called me since we met last.
- (4) “I’m home. Sorry I’m late.” “Ah, you’ve just missed the best part of this movie.”

解説

- (1) 現在完了進行形。< have [has] + been + …ing >の形で表す。
- (3) 「電話がない」は「彼女は電話をかけてこない」と考え、She hasn’t called me と表す。
- (4) 「ちょうど見逃した」という状況なので現在完了の have just missed とするのが適切。

2章 分詞の形容詞用法

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) 1) a crying boy 2) a boy playing the guitar
 3) a running dog 4) boys playing baseball
- (2) 1) 本を読んでいる少年は私の兄〔弟〕だ。
 2) 向こうでスケートをしている女の子はユカだ。

■ 確認問題 2

解答

- (1) 1) a used car 2) a pen used by Mr. Kato
 3) fried rice 4) rice fried with ham
- (2) 1) これらのジャガイモは北海道で栽培されている。
 2) 北海道で栽培されたジャガイモはおいしい。

解説

- (2)
- 1) 受動態の英文。< be 動詞 + 動詞の過去分詞 >で「…される」の意。
- 2) 動詞の過去分詞は「…されている」「…してしまった」という受動や完了の意味を表す。
分詞 (grown) が付属語句 (in Hokkaido) を伴うので名詞 (potatoes) を後ろから修飾する。

■ 確認問題 3

解答

- (1) exciting (2) excited

解説

- (1) 現在分詞は物や人について「…は～だ」と言及する時に用いる。
- (2) 過去分詞は人がどのように感じているのかを表すのに用いられる。get [be] excited about ～で「～にワクワクする」の意。

■ 聞き取りクイズ

解答

- ① cherry ② bench ③ chair ④ question ⑤ cheese

問題

【1】

解答

- (1) boiled (2) chopped (3) spoken (4) speaking
(5) fried (6) waiting (7) invited

解説

- (1) 「私は普段朝食にゆで卵を食べる。」他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞 (boiled) が単独なので前から名詞 (egg) を修飾する。
- (2) 「鍋にみじん切りの玉ねぎを入れなさい。」他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞 (chopped) が単独なので前から名詞 (onion) を修飾する。
- (3) 「ブラジルで話されている言語はポルトガル語だ。」他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞 (spoken) が付属語句 (in Brazil) を伴うので名詞 (language) を後ろから修飾する。
- (4) 「舞台上で話しているあの少女は誰ですか。」現在分詞「動詞の原形 (ここでは speak +ing)」で「…している」という意味。分詞に付属語句 (ここでは on the stage) がついているので、後ろから名詞 (girl) を修飾する。
- (5) 「あなたは鶏のから揚げが好きですか。」他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞 (fried) が単独なので前から名詞 (chicken) を修飾する。
- (6) 「誰か私を待っている人がいますか。」現在分詞「動詞の原形 (ここでは wait) +ing」で「…している」という意味。分詞に付属語句 (for me) がついているので、後ろから名詞 (anyone) を修飾する。
- (7) 「パーティの招待客は皆どこにいますか。」他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞 (invited) に付属語句 (to the party) がついているので名詞 (guests) を後ろから修飾する。

【2】

解答

- (1) written : 彼は英語で書かれた手紙を受け取った。
- (2) lying : 芝生の上で寝転がっている犬はジョンとレオンだ。
- (3) spoken : ブラジルで話されている言語を知っていますか。
- (4) standing : 窓の側に立っている2人の女性はトムの姉妹だ。
- (5) lost : なくしたボールをソファの下で見つけた。
- (6) using : あそこでコンピューターを使っている少年はジェイソンだ。
- (7) seen : ここから見えるすべてのものは美しい。
- (8) making : 台所でコーヒーをいれている少女は誰ですか。
- (9) killed : 事故で亡くなった旅行者のほとんどは大学生だった。
- (10) coming : 上の階から聞こえてくる騒音は何ですか。
- (11) used : 私は中古のテレビを買いたいと思っている。

- (12) interested : サーフィンに興味はありますか。
- (13) shocked : 誰もが事故に対してとてもショックを受けた。
- (14) stolen : これは都市での盗難自転車についての記事である。

解説

- (1) 他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞 (written) に付属語句 (in English) がついているので名詞 (letter) を後ろから修飾する。in English は「英語で」の意で方法・手段を表す。
- (2) 現在分詞「動詞の原形 (ここでは lie) +ing」で「…している」という意味。分詞に付属語句 (on the grass) がついているので、後ろから名詞 (dogs) を修飾する。
- (3) 他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞 (spoken) に付属語句 (in Brazil) がついているので名詞 (language) を後ろから修飾する。
- (4) 現在分詞「動詞の原形 (ここでは stand) +ing」で「…している」という意味。分詞に付属語句 (by the window) がついているので、後ろから名詞 (women) を修飾する。
- (5) 他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞 (lost) が単独なので前から名詞 (ball) を修飾する。
- (6) 現在分詞「動詞の原形 (ここでは use) +ing」で「…している」という意味。分詞に付属語句 (a computer over there) がついているので、後ろから名詞 (boy) を修飾する。
- (7) 他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞 (seen) に付属語句 (from here) がついているので名詞 (everything) を後ろから修飾する。
- (8) 現在分詞「動詞の原形 (ここでは make) +ing」で「…している」という意味。分詞に付属語 (coffee) がついているので、後ろから名詞 (girl) を修飾する。
- (9) 動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞 (killed) に付属語句 (in the accident) がついているので名詞 (tourists) を後ろから修飾する。
- (10) 現在分詞「動詞の原形 (ここでは come) +ing」で「…している」という意味。分詞に付属語句 (from upstairs) がついているので、後ろから名詞 (noise) を修飾する。
- (11) 他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞 (used) が単独なので前から名詞 (television) を修飾する。
- (12) 感情表現の他動詞の過去分詞は人がどのように感じているのかを表す。be interested in ~で「～に興味を持っている」の意。
- (13) 感情表現の他動詞の過去分詞は人がどのように感じているのかを表す。be shocked at ~で「～にショックを受ける」の意。
- (14) 他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞 (stolen) に付属語句 (in the cities) がついているので名詞 (bikes) を後ろから修飾する。

【3】

解答

- (1) living (2) named (3) written (4) made
(5) built (6) walking

解説

- (1) 「彼女は叔父がいる。彼はカナダに住んでいる。」「彼女にはカナダに住んでいる叔父がいる。」現在分詞「動詞の原形(ここではlive)+ing」で「…している」という意味。分詞に付属語句(in Canada)がついているので、後ろから名詞(uncle)を修飾する。
- (2) 「ある男の子が大変私の力になってくれた。彼はジョーという名前だった。」「ジョーという名前の男の子が大変私の力になってくれた。」他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞(named)に付属語(Joe)がついているので名詞(boy)を後ろから修飾する。
- (3) 「これは簡単な英語の本だ。」「これは簡単な英語で書かれた本だ。」他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。
- (4) 「私はイタリア製の車が好きだ。」「私はイタリアで作られた車が好きだ。」他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞(made)には付属語句(in Italy)がついているので名詞(cars)を後ろから修飾する。
- (5) 「その塔はいまだに美しい。それは100年前に建てられた。」「100年前に建てられたその塔はいまだに美しい。」他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞(built)に付属語句(100 years ago)がついているので名詞(tower)を後ろから修飾する。
- (6) 「その少年はベンの兄〔弟〕だ。彼はアンナと一緒に歩いている。」「アンナと一緒に歩いている少年はベンの兄〔弟〕だ。」現在分詞「動詞の原形(ここではwalk)+ing」で「…している」という意味。分詞に付属語句(with Anna)がついているので、後ろから名詞(boy)を修飾する。

【4】

解答

- (1) I saw some boys running along the river.
(2) There are some pictures taken by Simon.
(3) I like these cookies made by Sachiko.
(4) The nurse spoke to a boy lying sick in bed.
(5) The purse found by Ken on the street is Mariko's.

解説

- (1) 「私は川沿いを走っている何人かの少年を見た。」現在分詞「動詞の原形(ここではrun)+ing」で「…している」という意味。分詞に付属語句(along the river)がついているので、後ろから名詞(boys)を修飾する。
- (2) 「サイモンによって撮られた数枚の写真がある。」他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞(taken)に付属語句(by Simon)がついているので

名詞 (pictures) を後ろから修飾する。

- (3) 「私はサチコによって作られたクッキーが好きだ。」他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞 (made) に付属語句 (by Sachiko) がついているので名詞 (cookies) を後ろから修飾する。
- (4) 「その看護師は病床に臥している少年に話しかけた。」現在分詞は「…している」という意味。分詞に付属語句 (sick in bed) がついているので、後ろから名詞 (boy) を修飾する。lie sick in bed 「病床に臥す」
- (5) 「ケンによって通りで見つけられた財布はマリコのものだ。」動詞の過去分詞は「…されている」「…してしまった」という受動や完了の意味を表す。分詞 (found) に付属語句 (by Ken) がついているので名詞 (purse) を後ろから修飾する。

【5】

解答

- (1) 青森には「ねぶた祭り」と呼ばれるとても有名な祭りがある。
- (2) ロビーで話しているあれらの旅行者たちはオーストラリア人だ。
- (3) 都会に住む人々は、休暇を田舎で過ごすことを好む。
- (4) 赤い毛布で覆われたあれらの箱は何ですか。
- (5) 今日は私たちの学校の学園祭で、たくさんの人が訪れます。その人たちのほとんどが家族か友人です。黄色い帽子をかぶっているあの女の子は、私たちの担任の山田先生のお嬢さんです。

解説

- (1) 他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞 (called) に付属語句 (Nebutamatsuri) がついているので名詞 (festival) を後ろから修飾する。なお、famous という形容詞も festival という名詞を修飾している。
- (2) 現在分詞「動詞の原形 (ここでは talk) + ing」で「…している」という意味。分詞に付属語句 (in the lobby) がついているので、後ろから名詞 (tourists) を修飾する。
- (3) 現在分詞「動詞の原形 (ここでは live) + ing」で「…している」という意味。分詞に付属語句 (in cities) がついているので、後ろから名詞 (people) を修飾する。like to … は「…することを好む」であり、動詞の原形を伴い不定詞の名詞用法になっている。
- (4) 他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞 (covered) に付属語句 (with a red blanket) がついているので名詞 (boxes) を後ろから修飾する。前置詞 with は「～で」という手段・方法を表す。
- (5) 現在分詞「動詞の原形 (ここでは wear) + ing」で「…している」という意味。分詞に付属語句 (a yellow hat) がついているので、後ろから名詞 (girl) を修飾する。2文目の them は (many) visitors を指す。

【6】

解答

- (1) boiling water (2) fallen leaves (3) living in
(4) sitting with Akiko (5) The woman carrying a suitcase
(6) a knife made in Germany

解説

- (1) 現在分詞「動詞の原形（ここでは boil） + ing」で「…している」という意味。分詞 1 語なので、前から名詞（water）を修飾する。不定詞 to make は目的を表す不定詞の副詞用法である。
- (2) 自動詞の過去分詞は「…してしまった, …した」と完了的な意味を表す。このような自動詞の過去分詞は名詞の前に置いて使われることが多い。
- (3) 現在分詞「動詞の原形（ここでは live） + ing」で「…している」という意味。分詞に付属語句（in Seattle）がついているので、後ろから名詞（cousin）を修飾する。
- (4) 現在分詞「動詞の原形（ここでは sit） + ing」で「…している」という意味。分詞に付属語句（with Akiko）がついているので、後ろから名詞（girl）を修飾する。動詞 sit は<短母音 + 子音字>で終わるので現在分詞を作る時は最後の子音字を重ねる。
- (5) 現在分詞「動詞の原形（ここでは carry） + ing」で「…している」という意味。分詞に付属語句（a suitcase）がついているので、後ろから名詞（woman）を修飾する。
- (6) 他動詞の過去分詞は「…されている」という受動の意味を表す。分詞（made）に付属語句（in Germany）がついているので名詞（knife）を後ろから修飾する。

【7】

解答

- (1) What is the language spoken in Hong Kong?
(2) Excited fans called the name of the singer [the singer's name].
(3) I met a girl named [called] Stella while [when] I was in Rome.

解説

- (1) 「…されている」という受動の意味を表す他動詞の過去分詞を用いる。分詞（spoken）に付属語句（in Hong Kong）がついているので名詞（language）を後ろから修飾する英文にする。
- (2) 分詞に由来する形容詞 excited を用いる。人がどのように感じているかを表す過去分詞にする。
- (3) 「…されている」という受動の意味を表す他動詞の過去分詞を用いる。分詞（named [called]）に付属語（Stella）がついているので名詞（girl）を後ろから修飾する。接続詞 while, when は「～の間, ～の時」の意。

【8】

解答

- (1) This is a vase imported from Spain.
- (2) Who is the girl playing the guitar?
- (3) Used CDs are cheaper than new ones. But used jeans are sometimes more expensive than new ones.

解説

- (1) 「…されている」という受動の意味を表す他動詞の過去分詞を用いる。分詞 (imported) に付属語句 (from Spain) がついているので名詞 (vase) を後ろから修飾する。「輸入」は import, 「輸出」は export。
- (2) 現在分詞「動詞の原形 (ここでは play) +ing」で「…している」という意味。分詞に付属語句 (the guitar) がついているので、後ろから名詞 (girl) を修飾する。
- (3) まず「中古の」は「…されている」という受動の意味を表す他動詞 (use) の過去分詞を用いる。分詞 (used) が単独なので前から名詞 (CDs, jeans) を修飾する。ones はそれぞれ CDs と jeans を表す。なお、「～よりも安い」「～よりも高い」はそれぞれ形容詞の比較級 cheaper, more expensive を用いる。

3章 関係代名詞 まとめ

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) who [that] : 私は中国語を話せる人を探している。
- (2) which [that] : この映画館で昨年見た映画を覚えていますか。
- (3) whose : リビングルームがとても広い家にスコットは住んでいる。
- (4) whom [who ; that] : フユキさんが話している旅行者たちはフランスから来た。

解説

- (1) I am looking for someone. + He (or she) speaks Chinese. 人が先行詞で主格なので (2番目の英文で He (or she) は主語) who を用いる。
- (2) Do you remember the movie ? + We saw it at this theater last year. 物が先行詞で目的格なので (2番目の英文で it は目的語) which を用いる。この which は目的格である。
- (3) Scott lives in a house. + Its living room is very spacious. 物が先行詞で所有格なので (2番目の英文で its は所有格) whose を用いる。
- (4) The tourists are from France. + Mr. Fuyuki is talking with them. 人が先行詞で目的格なので (2番目の英文で them は目的語) whom を用いる。

■ 確認問題 2

解答

- (1) 彼はまさに私が探し続けていた人物である。
- (2) これは私が持ち合わせている唯一の地図である。
- (3) これがあなたがその作家について知っているすべてですか。
- (4) 彼を知っている人で、誰がそんなことを言えるだろうか。

解説

- (1) ~ (3) 関係代名詞 that は、先行詞が人の場合にも (動) 物の場合にも用いられるが、先行詞に限定力の強い語 (the very, the only, all など) がついている場合は that を用いることが好まれる。
- (4) 関係代名詞 that は、先行詞が人の場合にも (動) 物の場合にも用いられるが、先行詞が疑問詞 who や which の場合は that を用いることが好まれる。

■ 聞き取りクイズ

解答

- ① chip ② shoes ③ sheep ④ cheat ⑤ cheer

問題

【1】

解答

- (1) whose (2) with, which [that] (3) which [that] stands
(4) who is, whose name (5) which [that], taken (6) Franco painted

解説

- (1) 「白髪の男性はグリーン氏である。」を2通りに表現する。①名詞+前置詞句。with ~ は「~を持っている；~がある」の意味。②関係代名詞を使った文。The man is Mr. Green. + His hair is white. で下線部が先行詞で2番目の英文で所有格になっているので、所有格の関係代名詞 whose を用いる。
- (2) 「私の友人は大きな公園のある街を訪れた。」を2通りに表現する。①名詞+前置詞句。with ~ は「~を持っている；~がある」の意味。②関係代名詞を使った文。My friend visited the city. + It had a large park. で下線部が先行詞で2番目の英文で主語（主格）になっているので、物が先行詞の関係代名詞 which の主格を用いる。
- (3) 「丘の上に立つ建物は病院だ。」⇒「丘の上に立っている建物は病院だ。」を2通りに表現する。①分詞の形容詞用法。名詞+…ing は「名詞がその行為をする〔している〕」の能動の意味を表す。②関係代名詞を使った文。The building is a hospital. + It stands on the hill. で下線部が先行詞で2番目の英文で主語（主格）になっているので、物が先行詞の関係代名詞 which の主格を用いる。
- (4) 「スミス氏にはマイクと言う名の息子がいる。」を3通りに表現する。①分詞の形容詞用法。名詞+過去分詞は「名詞がその行為をされる」の受動態の意味を表す。②主格の関係代名詞を使った文。③所有格の関係代名詞を使った文。Mr. Smith has a son. + He is named Mike. Mr. Smith has a son. + His name is Mike. でそれぞれ下線部が先行詞になっており、人が先行詞になっているので、関係代名詞 who の主格と所有格を用いる。
- (5) 「これは昨日私の息子が撮った写真だ。」⇒「これは昨日私の息子によって撮られた写真だ」。This is a picture of my son. + It was taken by him yesterday. で下線部が先行詞で2番目の英文では主語（主格）になっているので、物が先行詞の関係代名詞 which の主格を用いる。
- (6) 「私はフランコによって描かれた絵が欲しい。」⇒「私はフランコが描いた絵が欲しい。」I want a picture. + Franco painted it. で下線部が先行詞で2番目の英文では目的語になっているので、物が先行詞の関係代名詞 which の目的格を用いることになる。目的格の関係代名詞は省略することができるので、この英文では省略されている。

【2】

解答

- (1) who [that] : ギターを弾ける生徒が何人かいる。
- (2) which [that] : 私の母は美しい庭のある家に住みたいと思っている。
- (3) whom [that] : 昨夜私たちが会った男性はとてもハンサムだった。
- (4) that : 通りに沿って歩いている高齢の女性と犬を見なさい。
- (5) whose : 私は茶色い耳の猫を飼っていた。
- (6) which [that] : ニックによって書かれた物語は面白かった。
- (7) that : 自分に親切にしてくれる人皆に親切にいなさい。
- (8) that : ジムはパーティで私が話をした唯一の人だった。

解説

- (1) There are some students. + They can play the guitar. 下線部が先行詞。2番目の英文で主語になっているので先行詞が人の関係代名詞 who の主格を用いる。
- (2) My mother hopes to live in a house. + It has a beautiful yard. 下線部が先行詞。2番目の英文で主語になっているので先行詞が物の関係代名詞 which の主格を用いる。
- (3) The man was very handsome. + We met him last night. 下線部が先行詞。2番目の英文で目的語になっているので、目的格の関係代名詞 whom を用いる。
- (4) Look at the old woman and the dog. + They are walking along the street. 下線部が先行詞。先行詞が人と動物の場合、関係代名詞は that が好まれる。2番目の英文で主語になっているので主格の関係代名詞を用いる。
- (5) I had a cat. + Its ears were brown. 下線部が先行詞。2番目の英文で所有格になっているので、関係代名詞の所有格 whose を用いる。
- (6) The story was interesting. + It was written by Nick. 下線部が先行詞。2番目の英文で主語になっているので先行詞が物の関係代名詞の主格 which を用いる。
- (7) 先行詞 (everyone) が限定力の強い語の場合、関係代名詞は that が好まれる。他に先行詞に限定力の強い語 (all, no, the very, the only) などがついている場合も that が好まれる。
- (8) Jim was the only person. + I talked with him at the party. 下線部が先行詞。先行詞に限定力の強い語句 (the only) がついているので、関係代名詞 that が好まれる。

【3】

解答

- (1) Look at the house which [that] has a green roof. [Look at the house whose roof is green.]
- (2) I have a friend who [that] lives in London.
- (3) Father gave me a toy which [that] was made in France.
- (4) The boy who [that] is swimming in the pool is Masaru.
- (5) He gave me all the stamps that he had.
- (6) I met a boy whose brother I know well.

解説

- (1) 「緑色の屋根をした家を見てごらんなさい。」先行詞を the house として2通りで表せる。
- (2) 「私はロンドンに住む友達がいる。」先行詞は a friend で「人」。主格の関係代名詞 who を用いる。
- (3) 「父は私にフランスで作られたおもちゃをくれた。」先行詞は a toy で「物」。主格の関係代名詞 which [that] を用いる。
- (4) 「プールで泳いでいる少年はマサルだ。」先行詞は the boy で「人」。主格の関係代名詞 who を用いる。
- (5) 「彼は自分が持っているすべての切手を私にくれた。」先行詞は the stamps で「物」。先行詞に限定力の強い語 all がついているので関係代名詞は that が好まれる。
- (6) 「私はその子の兄〔弟〕をよく知っている男の子に会った。」先行詞は a boy で「人」。所有格の関係代名詞 whose を用いる。

【4】**解答**

- (1) Mr. Kimura has a horse which [that] runs very fast.
- (2) The girl who [that] is standing over there is Sally.
- (3) The guests you've invited will not come.
- (4) The CD I listened to last night was Bach's.
- (5) The train which [that] runs between Tokyo and Nagano is very fast.
- (6) Be kind to the children who [that] live here.
- (7) He is the only person that knows the way to the harbor.
- (8) A writer whose name was Yakumo wrote the novel (in Meiji Era).
- (9) boys who are studying in the library are
- (10) cap which is on the chair is John's.
- (11) I spoke to on the street was a musician.
- (12) Is there anything I can do for you?

解説

- (1) 補う語は which [that]。先行詞は a horse で「動物」。主格の関係代名詞を補う。
- (2) 補う語は who [that]。先行詞は the girl で「人」。主格の関係代名詞を補う。
- (3) 補う語は will。The guests will not come. + You've invited them. の2文の組み合わせであり、本来は目的格関係代名詞 whom を用いてつなげるのだが、ここでは will を補う必要がある。whom は省略されていると考える。
- (4) 補う語は to。先行詞は the CD で「物」。listen to ～「～を聴く」の to が欠けている。関係代名詞 which は省略されている。
- (5) 補う語は which [that]。先行詞は the train で「物」。主格の関係代名詞を補う。
- (6) 補う語は who [that]。先行詞は the children で「人」。主格の関係代名詞を補う。
- (7) 補う語は only。先行詞 person に限定力の強い語句 the only がついているので、関係

代名詞は that を用いる。the way to ~で「～への道」の意。

- (8) 補う語は whose。A writer wrote the novel in Meiji Era. + His name was Yakumo. 先行詞である下線部に着目する。2 番目の英文で所有格になっているので、関係代名詞も所有格 whose を用いる。
- (9) who に注目して、後ろから boys を修飾するまとまりがあると想定して組み立てればよい。
- (10) The の後に続けられるのは cap か chair。残りを組み立てると意味上、「イスの上にある帽子」とするのが適切だとわかる。
- (11) The man を先行詞とした関係代名詞節が続く。迷ったら、小さな語句のまとまりを作り、それをブロックごとに並べてみよう。
- (12) 本来、I の前に関係代名詞 that があるのだが省略されている。「あなたのために私が何かできることはありますか。」の意。

【5】

解答

- (1) I have some friends who [that] live in Kyoto.
- (2) That is a new store which opened last week.
- (3) The man who [that] carried my baggage at the airport was very kind.
- (4) Please tell me the name of the song which [that] you are listening to.
- (5) The house whose fence is white belongs to Mr. Hamada.
[The house which has a white fence is Mr. Hamada's.]
- (6) This is the most interesting movie that I have ever seen.
- (7) I'll give you all the money that I have.
- (8) There are five students in this class whose fathers are doctors.
- (9) The big house which [that] stands on the hill belongs to my uncle.

解説

- (1) I have some friends. + They live in Kyoto. 先行詞が「人」。主格の関係代名詞 who を用いる。
- (2) That is a new store. + It opened last week. 先行詞が「物」。主格の関係代名詞 which を用いる。
- (3) The man was very kind. + He carried my baggage at the airport. 先行詞が「人」。主格の関係代名詞 who を用いる。
- (4) Please tell me the name of the song. + You are listening to it. 先行詞が「物」。主格の関係代名詞 which を用いる。listen to ~ の to を忘れないようにする。
- (5) The house belongs to Mr. Hamada. + Its fence is white. または、The house is Mr. Hamada's. + It has a white fence. と考えて2通りで表せる。
- (6) the most interesting という限定力の強い語句（形容詞の最上級）が先行詞についているので、関係代名詞を that にすることに注意する。省略可。
- (7) all という限定力の強い語が先行詞（the money）についているので、関係代名詞は

that が好まれる。省略可。

- (8) There are five students in this class. + Their fathers are doctors. 下線部が2番目の英文で所有格になっていることに着目し、所有格の関係代名詞を用いる。
- (9) 建物が「立っている」場合は、動詞 stand を用いる。

【6】

解答

- (1) The man whom [that] you met on the way to school is our teacher.
- (2) The cat whose name is Momoka is lying on the sofa.
[The cat which is called [named] Momoka is lying on the sofa.]
- (3) All the pictures that I took last year are in this album.
- (4) We are going to have dinner at the restaurant which is near the sea [beach].
- (5) On a windy day the clouds look like fish which [that] are swimming in the sky.

解説

- (1) 「～への途中」は on the way to ～。目的格の関係代名詞を用いる。
- (2) 複数の表現ができる。2文目の which は that でもよい。
- (3) all という限定力の強い語が先行詞 (the pictures) についているので、関係代名詞は that が好まれる。
- (4) 先行詞 restaurant を修飾するまとまりを作る。
- (5) 「～な日」は前置詞 on を用いて表す。「～に見える」は look like。「空を泳いでいる魚」は「魚」を先行詞として関係詞節のまとまりを作る。

4章 接続詞

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) and (2) but (3) or (4) and
(5) so (6) or

■ 確認問題 2

解答

- (1) ミキもユキも高校生だ。
(2) ミキかユキのどちらかがその本を持っている。
(3) 私の兄〔弟〕は英語も数学も好きではない。
(4) 彼はピアノだけではなくバイオリンも弾ける。

■ 確認問題 3

解答

- (1) 明日晴れるといいなあ。
(2) (残念ながら) 明日は雨になると思います。
(3) 彼はユミのことが好きなのだと思います。
(4) 彼は5カ国語が話せると言っている。
(5) それは真実ではないと思います。
(6) あなたに会えてうれしく思います。

解説

- (1) ～ (6) that は省略されている。

■ 確認問題 4

解答

- (1) When I visited her, she was reading.
私が彼女を訪ねた時、彼女は本を読んでいた。
(2) While I was speaking, he didn't say anything.
私が話している間、彼は何も言わなかった。
(3) After he did his homework, he went to bed.
彼は宿題をした後、寝た。
(4) Before she goes to bed, she brushes her teeth.
彼女は寝る前に歯を磨く。

■ 確認問題5

解答

(1) Though [Although] (2) because (3) If

解説

- (1) 「彼はとても裕福だけれども、幸せではない。」
- (2) 「私はとても疲れていたなので早く床に就いた。」
- (3) 「もし辞書が必要ななら、私の物を使ってよいですよ。」

■ 聞き取りクイズ

解答

① jam ② bridge ③ jump ④ cage ⑤ language

問題

【1】

解答

- (1) or (2) sorry (3) before (4) When
(5) though [although] (6) that (7) After (8) while
(9) that (10) until [till] (11) so (12) but ; afraid
(13) If (14) Either (15) Neither ; them
(16) not only ; but also (17) that

解説

- (1) A or B 「A, それとも B」。
(2) I'm sorry that … 「…ということを残念に思う」。
(5) though … 「…だけれども」。
(6) Are you sure that SV ? 「SがVするということを確信していますか。」
(8) 「…の間に」は while SV。
(10) 「～まで」は until [till]。
(12) 2文目の I'm afraid ～ は相手にとって都合の悪いことなどを言う場合によく用いられる表現。
(14) either 「2つ [2人] のうちどちらか一方」を表す。
(15) 動詞部分が can read と肯定であることから、主語に否定の要素があることがわかる。neither は 「2つ [2人] のうちの両方とも～でない」の意。
(16) not only A but (also) B 「Aだけでなく B も」。

【2】

解答

- (1) 今日はとても寒い。だから私たちは泳ぎには行きません。
(2) テッドは寝る前に歯を磨く。
(3) 私は彼が長い間東京に住んでいるということを知っている。
(4) ケントかジェームズのどちらかが答えを知っている。
(5) 一生懸命にやりなさい。そうしないと失敗しますよ。
(6) 今、出発しなさい。そうすればその電車に間に合いますよ。
(7) もしあなたが彼女を夕食に誘えば、彼女は喜ぶでしょう。
(8) 彼女はそこに到着するとすぐに具合が悪くなった。
(9) 私が留守の間、犬の面倒をみてください。
(10) サカモト氏は日本だけでなく、世界の多くの地域において有名である。

解説

- (1) so は前の内容を受けて、「だから、それで」という意味を持つ。
(2) before + SV 「SがVする前に」。
(3) 名詞節を導く接続詞 that を含む文。「SがVだということを知っている」という形。

- (4) either A or B 「AかBのどちらか」。
 - (5) 命令文, or ~. 「…しなさい, そうしないと~ですよ」。
 - (6) 命令文, and ~. 「…しなさい, そうすれば~ですよ」。
 - (7) 条件を表す接続詞 if が導く節の中では, 未来の事柄も現在形で表す。
 - (8) as soon as SV 「SがVするとすぐに」, get sick 「病気になる, 具合が悪くなる」。
 - (9) while SV 「SがVする間」, look after [= take care of] ~ 「~の面倒をみる」。
 - (10) not only A but also B 「AだけでなくBも」。
- in ~ のまとまりごとに置かれている点に着目。

【3】

解答

- (1) He often helps me with my homework though he is very busy.
[Though he is very busy, he often helps me with my homework.]
- (2) She didn't go to school because she was sick. [Because she was sick, she didn't go to school.]
- (3) She is honest and kind, so I like her.
- (4) The house is old, but it is very nice.
- (5) Take a taxi, or you will be late for the meeting.
- (6) Clean up your room, and you will find the book.

解説

- (1) 「彼はとても忙しいけれども, 私の宿題をよく手伝ってくれる。」
- (2) 「彼女は具合が悪かったので, 学校に行かなかった。」
- (3) 「彼女は正直で親切なので, 私は彼女が好きだ。」
- (4) 「その家は古いけれど, とても素敵だ。」
- (5) 「タクシーに乗りなさい, そうしないとミーティングに遅れますよ。」
- (6) 「部屋を片づけなさい, そうすればその本が見つかりますよ。」

【4】

解答

- (1) I went to school though I was sick.
- (2) Read a lot of books while you are young.
- (3) Please write your name here with a pen or a pencil.
- (4) As soon as he heard the bell, he ran out of the classroom.
- (5) Let's start dinner when Miki comes back.
- (6) She loved him, but she didn't say so. [Though she loved him, she didn't say so.]
- (7) Come to see me if you are not busy next week.
- (8) That store sells both vegetables and fruits.
- (9) He was late, so he took a taxi. [Because he was late, he took a taxi.]
- (10) Mr. Brown remained in the classroom until the last student left.

(11) I am sure that they told me a lie.

解説

- (1) but を用いる場合, I was sick, but I went to school. と but の前にカンマが必要なのでここでは不可能。また通常, But ~ のように文を始めることはしない。
- (2) when を用いて「若い時に」としても近い内容を表すが, while を用いて「~の間」とするほうがより適切。
- (3) A or B「AかB」。ここでの with は手段を表す用法で「~を使って」の意。
- (4) as soon as SV「SがVするとすぐに」は頻出表現。out of ~は「中から外へ」を表す表現。
- (5) 「ミキが帰ってきたら」は時を表す副詞節。よって, 未来の事柄ではあるが現在形を用いて表すのでここでは comes を補う。
- (6) 文末の so は前出の内容を受けて「彼を愛していること」を表す。
- (7) 「もし君が来週忙しくなかったら」は条件を表す副詞節。よって未来の事柄ではあるが現在形を用いて表す点に注意。come to ... 「…しに来る」は口語で頻出の表現。
- (8) both A and B「AもBも両方とも」。
- (9) so は前の内容を受けて, 「だから; それで」という意味を持つ。
- (10) 「~まで」は until を用いる。
- (11) I am sure that SV. 「SがVであると確信している」。

[5]

解答

- (1) Keita stayed home, but Masaru went out.
- (2) He is very selfish, so he has only a few friends.
- (3) When I woke up this morning, it was snowing.
- (4) Akiko has never been abroad, but she speaks English very well. [Though Akiko has never been abroad, she speaks English very well. / Akiko speaks English very well though she has never been abroad.]
- (5) As soon as he got out of the car, he called my name.
- (6) “Oh, we’ve missed the 7:00 bus.” “Really? Then let’s wait over there until the next bus [one] comes.”
- (7) My younger brother likes neither English nor math.
My younger brother doesn’t like either English or math.
- (8) I’m glad that I can study English with you. [I’m happy that we can study English together.]

解説

- (2) so は前の内容を受けて, 「だから; それで」という意味を持つ。
- (3) 「目覚める」は wake up. get up の「起床する」と区別しよう。
- (4) 「一度も行ったことがない」は現在完了の経験用法。「海外へ」は abroad。前置詞は不要なので注意。従位接続詞 though を用いても表せる。

- (5) As soon as SV「Sが…するとすぐに」を用いて表す。
- (6) 今、バスを逃してしまった状態であることを表すには現在完了形を用いて We have missed ~とするのがよい。2文目は「次の(バス)が来るまで」とあるが、これは時を表す副詞節なので未来の事柄であるが現在形で表す。
- (7) neither A nor B = not either A or B。
- (8) 接続詞 that を用いて表す。

【6】

解答

- (1) (a) never (e) two [double]
- (2) Chaplin is a man who [that] doesn't have a family
- (3) (b) カ (c) オ (d) イ

解説

- (1) (a) 現在完了の文。文脈からマサシはこの映画を知らないことがわかる。よって、「これまでに聞いたことが一度もない」という意味の文を想定すればよい。
(e) ある人間の貧しい生活とある犬の貧しい生活の両方を意味していることが、前の部分までの会話でわかる。
- (2) 先行詞を a man とした、主格の関係代名詞 who [that] を用いた文を作ればよい。
- (3) (b) 前の文は be 動詞 is の付加疑問文である。よってそれに対応している選択肢に目をつければよい。
(c) 前の文でマサシが「それはハチ公のように有名な犬の話なのか」とたずねている。一方、空所の後でアツコは「弱いかわいそうな犬の話」だと説明している。よって空所にはマサシの言ったことを否定する返答が入るとわかる。
(d) 前の文でアツコが「間違ってもいるし、合ってもいる」と答えたことから「それはどういう意味？」とたずねている。

全訳

マサシ：やあ、アツコ。

アツコ：あら、マサシ。休暇は楽しかった？

マサシ：うん。父と川に釣りに行ったんだ。大きな魚をたくさん釣ったよ。君はどうだった？

アツコ：“The Dog's Life”という映画を見に行ったわ。

マサシ：“The Dog's Life”だって？聞いたことのない映画だなあ。それは有名なの？

アツコ：映画自体はそれほど有名だとは思わないけれど、その映画を作って、出演もしている人はとても有名な人よ。

マサシ：誰だい？

アツコ：チャーリー・チャップリンよ。

マサシ：ああ、彼の名前は知っている。彼が作った最も有名な映画の一つは“The Modern Times” だろ。

アツコ：その通り！見たことがあるの？

マサシ：うん、とても好きなんだ。ところで“The Dog's Life”について教えてよ。それはハチ公のように有名な犬の話なのかい？

アツコ：ぜんぜん違うの。家がなくて、小さく弱い犬のかわいそうな一生の話よ。

マサシ：それならチャップリンは映画の中で犬の役なのかい？

アツコ：うーん、そうじゃないけど、それは間違っていないわね。

マサシ：どういう意味だい？

アツコ：映画の中では、チャップリンは家族のない人なの。彼には仕事もない。お金はほとんどなくて、とても貧乏なの。

マサシ：それじゃあ、映画は貧乏な男とみじめな犬の生活の両方を描くんだ。当たっている？

アツコ：そうよ、それで…？

マサシ：ああ、今わかったよ。その映画の名前は2つの意味があるんだね。何て面白そうなんだ！いつか見てみたいな。

注

- ℓ. 2 ○ have a good time = enjoy 「楽しむ, 楽しい時を過ごす」
- ℓ. 3 ○ go fishing in the river 「川に釣りに行く」, 前置詞は in であることに注意。
- ℓ. 5 ○ dog's life : 文字通り「犬の生活」の意味と「みじめな生活」の2つの意味がある。
- ℓ. 6 ○ I have never heard of the movie before. 現在完了の経験用法で「以前に一度もその映画のことは聞いたことがない」の意。
- ℓ. 11 ○ one of the 複数名詞「～の1つ」
- ℓ. 22 ○ He has little money. 「彼はほとんどお金を持っていない。」 little は数えられない名詞の前につくと「ほとんど～ない」という意味になる。a little 「少し〔少量〕の～」とは意味が異なるので注意。
- ℓ. 26 ○ How interesting! 「なんて面白いんだろう！」は感嘆文。How + 形容詞 (+ SV) ! の形で用いる。

【7】

解答

- (1) Our trip was canceled because a typhoon was approaching.
- (2) He is poor, but he lives a happy life.
- (3) Tom visited a lot of cities while he stayed in Japan.
- (4) Both French and German are spoken in Switzerland.
- (5) “Are you coming to the party tomorrow?” “I’m afraid I can’t come.”

解説

- (2) though … 「…だけれども」を用いて Though he is poor, he lives a happy life. [He lives a happy life though he is poor.] とも表せる。
- (3) while SV 「Sが…する間に」を用いる。
- (4) both A and B 「AとBの両方とも」。
- (5) I’m afraid (that) SV. は会話にてよく用いられる表現なので押さえておこう。

2EJS/2EJ
中2英語
中2東大英語



会員番号	
------	--

氏名	
----	--

不許複製